

様式4

令和6年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立境学校
 学校長 酒井 敏彦

評 価 日	令和6年11月14日(木)	
評 価・提 言		学校の所見・改善策
<p>1 目標設定について</p> <p>○「3 学力の向上と進路実現」について、数値目標の達成に尽力していただきたい。個別最適な学びをどのように仕掛けていくのかとか、子どもたちの学びの意欲に火をつけるために「わかった」「できた」という経験を是非とも大切にしていきたい。</p> <p>○「2 生きる力(探究力)の育成」では、境考学を始めて年数が経ち、生徒も教員も熟度が増してきたように感じる。こういった取り組みは、達成感を感じることができ、課題意識を持って他者とやりとりし、解決に繋げようとすることは学習意欲向上を促進するためにも有意義であり、さらに充実させてもらいたい。</p> <p>2 評価項目と目標達成のための取組について</p> <p>○学力(進学)について高い目標が掲げられているので、その目標を達成できるようにしてもらいたい。</p> <p>3 具体目標について</p> <p>○特に意見なし</p> <p>4 目標達成のための具体方策について</p> <p>○境港市は、海路も空路もあり、将来に渡って活躍できる地でもある。もっと、韓国語も中国語も英語も学べるといった特色をしっかりPRしてほしい。</p> <p>○スクールプロジェクトは、参加した児童にも高校生にも有意義な取り組みと感じる。この取り組みはもっと発展させていってほしい。</p> <p>5 その他</p> <p>○人脈作りを支援できるような仕組みがあると良い。</p>	<p>○総合型選抜入試で合格し進学する生徒も増えてきている。その中には、境考学で学んだことを生かしている生徒もいる。総合型選抜を含む多様な入試に対応できるよう今後も力を入れていく。</p> <p>○地域の方々の支援により、境考学も充実してきたと思われる。地元の企業や市役所等との連携をさらに深めて、生徒自ら地元の課題を発見し、自分たちの手でそれらを解決することでこの活動がより有意義となるよう指導していきたい。</p> <p>○数値目標達成のために何が必要であるのか再確認し、年度末には達成できるようにしたい。</p> <p>○本校の特色や魅力について、十分に地域の方々や中学生に届いていないのであればPR不足である。韓国語や中国語を学んでいる生徒が、地域に出向き、学んだ語学を生かしている姿を見ていただけるような取り組みも必要と思われる。</p> <p>○スクールプロジェクトは小学生の参加をもう少し増やし、今以上に充実したものにしていきたい。</p> <p>○関係機関と連携していきたい。</p>	